

7/28 園児たちが安全運転を呼びかける

梅沢保育所 交通安全街頭啓発

五所川原地区交通安全協会梅沢支部と梅沢保育所の園児たちが、町内の横薮ふれあいセンター前で交通安全該当啓発を行いました。

この活動は鶴田交番の警察官立会いのもと毎年行われています。園児たちは停車した車のドライバーに「安全運転をお願いします」と声がけをし、園児たちが書いた交通安全へのメッセージや反射材、交通安全啓発のチラシを手渡していました。



ドライバーに安全運転をお願いする園児



花火を受け取ったつた乳幼児園の子どもたち

8/2 楽しい夏の思い出を作って

鶴田ライオンズクラブ 手持ち花火の寄贈

鶴田ライオンズクラブ（蒔苗明義会長）は家族で夏を楽しんでもらいたいと、鶴田町内の7か所の幼稚園・保育所に手持ち花火セット約400人分を寄贈しました。

同クラブによる寄贈は毎年行われており、今回で6回目。つた乳幼児園で行われた贈呈式では蒔苗会長から園児らに花火セットが手渡され、花火を受け取った園児たちは感謝の合唱を披露しました。

蒔苗会長は「この花火で家族と楽しい思い出を作ってください」と子どもたちに話しかけていました。

8/26 舞橋で感謝の舞を踊る

五所川原宝生会 鶴の舞橋オンステージ

謡曲や仕舞の愛好団体「五所川原宝生会」が鶴の舞橋にある大ステージで演舞を披露しました。

鶴の舞橋は2023年から3期に分けて大規模改修工事が進められており、今回の演舞披露は完成当時からある橋がなくなることから第3期工事を前に名残を惜しんだもの。

同会は津軽富士見湖を臨む大ステージで、鶴の舞橋にちなみ「鶴亀」「橋弁慶」「春日龍神」など5つの演目を古い橋に感謝と労わるように心を込めて披露していました。



改修前の鶴の舞橋大ステージで素謡を披露



町の立地と良環境を前面に押し出した「らぼキャン2025」。8月1日～11日の期間中にのべ50泊のご利用をいただきました。利用客の約6割が関東以西の方でした。前半は猛暑、後半は雷雨と、気候は恵まれたものではありませんでしたが、利用客は口々に祭りの凄さと景色の良さ、そして温泉の感動を語っていました。「来年も?」「冬は?」等の要望もありました。利用者様との連絡網もできたので、引き続き町の情報を発信していきたいと思います。

また16日には有志の会『ミコプロ(富士見湖パークプロジェクト)』主催の水遊びイベント『水ドン(みずどん)』のスタッフとして参加。短い準備期間でしたがスタッフや下山学園の生徒さんたちの機転と当日の好天、そして役場の担当課の協力により、何とか実施にこぎつけました。今後の鶴田町も期待大です。



「らぼキャン2025」でのようす(夜)



「水ドン」ではしゃぐ参加者たち



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。

8/16 水鉄砲撃ち合いで スズ濡れ 富士見湖パーク・プロジェクト「水ドン」

富士見湖パーク・プロジェクト（通称：ミコプロ）が手作り水鉄砲を使ったイベント「水ドン」を開催しました。

ミコプロは富士見湖パークや町を盛り上げたい有志が集まり結成されました。ミコプロによるイベントは今回が初めてで、当日は下山学園の生徒も運営に協力し約 300 人が参加。参加者たちは塩化ビニール製のパイプで自分の水鉄砲を作り、的当てや早打ち対決などをズズ濡れになりながら楽しんでいました。

工藤宏匡代表は「子どもたちが楽しく遊んでくれてうれしいです。周りの大人たちにも笑顔があり、やりがいを感じました。これからも 1 年を通して定期的にいろんなイベントを計画していきたい」と話していました。



要望のあった道路を確認する関係者たち

8/28 危険な道路を見回る 鶴田町道路交通診断

町交通安全対策協議会による道路交通診断が行われました。道路交通診断は、住民から要望があった危険な道路を役場職員や警察官が現地を訪れ、道路の状況を確認し適切な対策を話し合います。

今回は要望があった8箇所の道路診断を行い、カーブミラー設置や信号機の新設の必要性を確認していました。

町では町民の皆さまからの身の回りの交通上危険な道路の報告を受け付けています。（住民環境課環境対策係まで）

地域おこし 協力隊通信 Vol.93（筆：葛西あゆみ）

園地ではスチューベンが色付き、今年も収穫が早まるということで準備を急いでいます。色付いた実から鳥が食べてしまうので、防鳥ネットを張って対策しています。昨年この防鳥網の設置において夫婦げんか寸前、イラっとしたり、させたりで今年は網のことを考えるだけで胃痛がしてくる始末。協議の結果、今年は個別に対応することにしました。今ほっと胸をなでおろしているところです。

先日は弘前大学に赴き、農学生命科学部の先生とスチューベンの生産、販売における共同開発研究についての意見交換を行いました。

最近夜中に雷光が目覚め、そのあと激しい風と雨になることが何度かありますが、津軽では「雨風乱風（あめがじゃらんふう）」と言うそうですね、まさに読んで字のごとし。今後も新しい津軽弁との出会いを楽しみにしています。



▲防鳥ネットを設置している葛西さん



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種 SNS でも確認することができます。